

## 2024 年度 委員会事業計画書

委員会	70 周年特別委員会			
委員長	奥田 貢大	委員会 幹事	林 一輝	
基本方針	<p>瀬戸青年会議所は、地域や文化の魅力を発信する為に 70 周年の節目を迎える今、過去数多くの活動してまいりましたが、社会の変化と共に会員数減少問題に直面する中で、瀬戸の今後の発展や更なる魅力の向上へと繋がる事業活動をメンバー一同、推進力を緩めず進んで行く事が重要だと思います。</p> <p>70 周年特別委員会では、瀬戸の魅力をメンバー一同が再認識し 80 周年に向け次世代の未来を見据えた vision を制定してまいります。一人ひとりが日々の瀬戸青年会議所の活動に誇りを持ち、未来を担う子供たちが社会に出て行った際に、瀬戸に生まれた事、住んでいる事に誇りをもてるような体験の場や経験の場を提供し、笑顔が溢れる運動を展開してまいります。</p> <p>70 周年特別委員会は、次世代の未来を見据え、志同じうする仲間と共に当たり前を問い直しながら組織一丸となり、明るい豊かな社会の実現に向け日々精進してまいります。</p>			
事業計画	<p>70 周年に関する事業</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 70 周年記念式典 (6 月)</li> <li>2. 未来への vision 制定 (6 月)</li> <li>3. 70 周年記念事業 (10 月)</li> </ol>			
予算	収入の部		支出の部	
	科目	金額	科目	金額
	1. 委員会事業費	1,000,000	1. 70 周年記念事業	700,000
			2. 70 周年記念式典	300,000
		3. 未来への vision 制定	0	
	計	1,000,000	計	1,000,000

## 2024 年度 委員会事業計画書

委員会	人とまちの魅力向上委員会		
委員長	江川 正司	副委員長	牧 幸佑 林 一輝
基本方針	<p>我々は、これまでまちの発展に向け、まちの魅力の創出や発信を行ってきました。近年、コロナ禍などの大きな社会変化があったなか、地域社会においてコミュニティの重要性が増したところですが、このコミュニティを支えているのは「人」であり、魅力的な地域社会にはまちに住む「人の魅力」こそ重要であるといえます。この魅力を再認識するとともに、多様な考え方に気付くことで、さらにまちの魅力は向上していくと考えます。</p> <p>人とまちの魅力向上委員会では、デジタルなども含めた新たなコミュニケーションを用いるなどして、様々な視点から人の持つ魅力を発見し、向上させていきます。また、これらの運動を、SNS だけではなく、届けたい人に合った様々な媒体を用いて多くの人に向けて発信することで、多様な価値観に気付くきっかけを作り、地域社会の魅力の向上につなげていきます。</p> <p>瀬戸青年会議所メンバーの一人ひとりが、自分自身を含めたまちに関わる人の魅力の再認識や発信運動を通じて、瀬戸青年会議所のメンバー一員であることに誇りを持つことで、メンバーや地域社会、関わる人たち全体の「絆」を深めてまいります。</p>		
計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 総会・例会の設営及び例会の運営</li> <li>2. 人とまちの魅力向上事業(4月)</li> <li>3. 新年を祝う会(1月例会時)</li> <li>4. 直前理事長感謝状贈呈(1月例会時)</li> <li>5. 出向者紹介(1月例会時)</li> <li>6. 次年度理事長激励の集い</li> <li>7. 卒業生を送る会(12月例会)</li> <li>8. 広聴広報活動並びにPRに関する業務             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ホームページと SNS の更新と運用(1月～12月)                 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 各種情報の発信と収集</li> </ol> </li> <li>(2) JC ニュースの編集・発行</li> <li>(3) 活動の記録保存整理・調整</li> <li>(4) 報道機関との窓口業務</li> <li>(5) 献血活動                 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 陶祖まつり献血活動</li> <li>② せともの祭献血活動</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>9. 第 68 回瀬戸 JC 賞に関する事業             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 募集・調査・分析(1月～5月)</li> <li>(2) 表彰式</li> </ol> </li> <li>10. 新入会員認承証伝達式</li> <li>11. 褒賞・表彰及び慶弔に関する業務</li> <li>12. 定款の研究及び周知</li> <li>13. 委員への連絡・調整</li> <li>14. 奉仕箱の管理に関する業務</li> </ol>		

	収入の部		支出の部	
	科目	金額	科目	金額
予 算	1. 委員会事業費	264,500	2. 人とまちの魅力向上事業	200,000
			3. 新年を祝う会	5,000
			4. 直前理事長感謝状贈呈	25,500
			8. 広聴広報活動並びに PR に関する業 務	5,000
			9. 第 68 回瀬戸 JC 賞に関する事業	19,000
			10. 褒賞・表彰及び慶弔に関する業務	10,000
	計	264,500	計	264,500

2024 年度 委員会事業計画書				
委員会	事務局			
事務局 長	柴田 謙	事務局員	加藤将平 黒柳知世 水野秀章	
基本 方針	<p>我々事務局の使命は、明るい豊かな社会の実現に向けた運動に専念できる環境を整えることです。瀬戸青年会議所が 70 年継続して運営できてきたのは、メンバー自らがこの環境の礎となる厳格な会議運営を行ってきたことこそと考えます。</p> <p>事務局では、この伝統を守り期限遵守と正確な資料の作成・配信に注力するとともに、時代の変化に向き合い真摯に対応していくことで、事務局業務の効果的・効率的な運営体制を構築します。加えて、歩みを共にする尾張東 6JC をはじめとした他青年会議所の運動発信に関して、連絡・調整機能を果たすことで、関係性をより強固なものにし、共に成長していける土壌をつくります。</p> <p>組織の持続可能性の確保に向けて、会員を拡大し、組織の多様性を追及することで、瀬戸青年会議所メンバーのみならず、地域との絆を更に深め、この 70 周年が次の 80 周年に向けたスタートダッシュの年となるよう我々は全力を捧げてまいります。</p>			
事業 計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 理事会の設営</li> <li>2. 正副理事長会議の設営</li> <li>3. 事業計画書並びに予算書、事業報告書並びに決算書、会員名簿の作成</li> <li>4. 諸規程の研究及び周知</li> <li>5. 事務局備品の管理</li> <li>6. 文書・データの保存・管理</li> <li>7. 尾張東 6JC 間の連絡・調整</li> <li>8. 入会希望者ガイダンス（随時）</li> <li>9. 出席率の向上と出席表の作成</li> <li>10. 各種会議に関する業務 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 京都会議（1月18日～1月21日）</li> <li>(2) 名古屋会議（2月3日）</li> <li>(3) 第57回愛知ブロック大会（稲沢）（9月21日）</li> <li>(4) 第72回全国大会（福岡）（10月3日～10月6日）</li> </ol> </li> <li>11. 各種会議に関する窓口業務 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) JCI ASPAC（カンボジア）（6月6日～6月9日）</li> <li>(2) 東海コンファレンス（岐阜）（7月6日）</li> <li>(3) サマーコンファレンス（横浜）（7月20日～7月21日）</li> <li>(4) JCI 世界会議（台湾）（10月30日～11月3日）</li> </ol> </li> <li>12. 姉妹 JC に関する業務</li> </ol>			
予算	収入の部		支出の部	
	科 目	金 額	科 目	金 額
	1. 事務局事業費	20,000	3. 事業計画書並びに 予算書、事業報告 書並びに決算書、 会員名簿の作成	20,000
	計	20,000	計	20,000